資料１

平成 30 年度北海道原子力防災訓練について（案）

１　訓練の目的

防災関係機関が協力して原子力防災対策を円滑に実施できるよう、関係機関の連携、防災業務関係者の防災技術の向上を図るとともに、地域住民の防災意識の高揚や、防災対策に関する理解促進を図る。

２　主　　催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村（道及び 13 町村）

３　実施日時

平成 30 年 10 月 22 日（月） ９：00～15：30

※　意思決定訓練と実動訓練を連動させて１日間で実施

４　参 加 機 関

原子力防災に関する連絡会議参加自治体（上記 13 町村を除く 23 市町村）、陸上自衛隊北部方面隊、第一管区海上保安部、北海道開発局、札幌管区気象台、北海道警察、消防機関、(公社)北海道トラック協会、(一社)北海道バス協会、(一社)北海道建設業協会ほか

５　訓 練 想 定

後志地方に台風が接近し上陸する中、運転中の泊発電所３号機において、何らかの故障等により冷却機能を喪失。その後、炉心が損傷し、放射性物質の放出に至る。

６　訓練内容（主なもの）

台風との複合災害時の住民の防護措置に係る対応手順等を確認する。

項　目	主　な　内　容
■　オフサイトセンター運営訓練	○国、道、町村等の要員が参集し、OFC で指揮所訓練を実施
■　災害対策本部等運営訓練	○道庁地下１階危機管理センターに指揮室を設置 ○国、道、町村の災害対策本部運営
■　住民避難訓練	○住民の 30km 圏外への段階的な避難の実施 PAZ：泊村、共和町 UPZ：共和町、ニセコ町、倶知安町、仁木町、赤井川村
複合災害を想定した避難	○実動機関による孤立集落からの住民避難の支援 **※　ヘリ、装甲車、船舶による住民避難** ○避難道路の啓開
要配慮者避難	○学校、社会福祉施設などへの通報連絡 ○福祉車両等による避難 ○在宅要配慮者の放射線防護施設への屋内退避
観光客避難	○観光客の避難に係る対応手順（マニュアル）等の確認 **※　ニセコエリア初の外国人観光客等避難誘導訓練**
一時滞在場所設置・運営（避難受入自治体）	○受入マニュアル等に基づく初動対応の確認 ○避難住民の受付・誘導手順の確認
道路渋滞対策	○渋滞予測箇所における迂回路誘導 ○道路情報板による交通広報
■　原子力災害医療活動訓練	○避難退域時検査及び簡易除染 ○安定ヨウ素剤（模擬）の緊急配布 ○医療機関への患者搬送と受入施設での医療措置
■　緊急時環境放射線モニタリング訓練	○重点区域内におけるモニタリング活動の実施

７　課題等の整理

訓練に参加した住民に対するアンケート調査、防災関係機関に対する事後調査等により、次年度以降の訓練に向けた課題等を把握・整理する。

資料２

－平成 30 年度－
北海道原子力防災訓練

主　　催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村

目　　的

□原子力防災対策を円滑に実施できるよう、関係機関の連携、防災業務関係者の防災技術の向上を図ること。
□住民の皆さまの防災意識の高揚や防災対策に関する理解促進を図ること。

実施日時

平成 30 年 10 月 22 日（月）　9 時 00 分～15 時 30 分（予定）

訓練項目

○ 災害対策本部等設置運営訓練・・・・・・道及び各町村に災害対策本部等を設置
○ オフサイトセンター（OFC）運営訓練・・関係機関からの要員による OFC の運営
○ 住民避難訓練・・・・・・・・・・・・・・避難所等への住民避難や屋内退避
○ 広報訓練・・・・・・・・・・・・・・・・緊急速報メール等による広報
○ 緊急時通信連絡訓練・・・・・・・・・・関係機関等との通信連絡
○ 緊急時環境放射線モニタリング訓練・・・環境放射線の測定
○ 原子力災害医療活動訓練・・・・・・・・避難退域時検査や簡易除染の実施
○ 物資緊急輸送訓練・・・・・・・・・・・屋内退避住民への物資の輸送　　など

住民避難訓練
（バスによる避難）

広報訓練
（広報車による広報）

原子力災害医療活動訓練
（避難退域時検査）

掲載している写真は、過去に実施した訓練風景です。

お　願　い

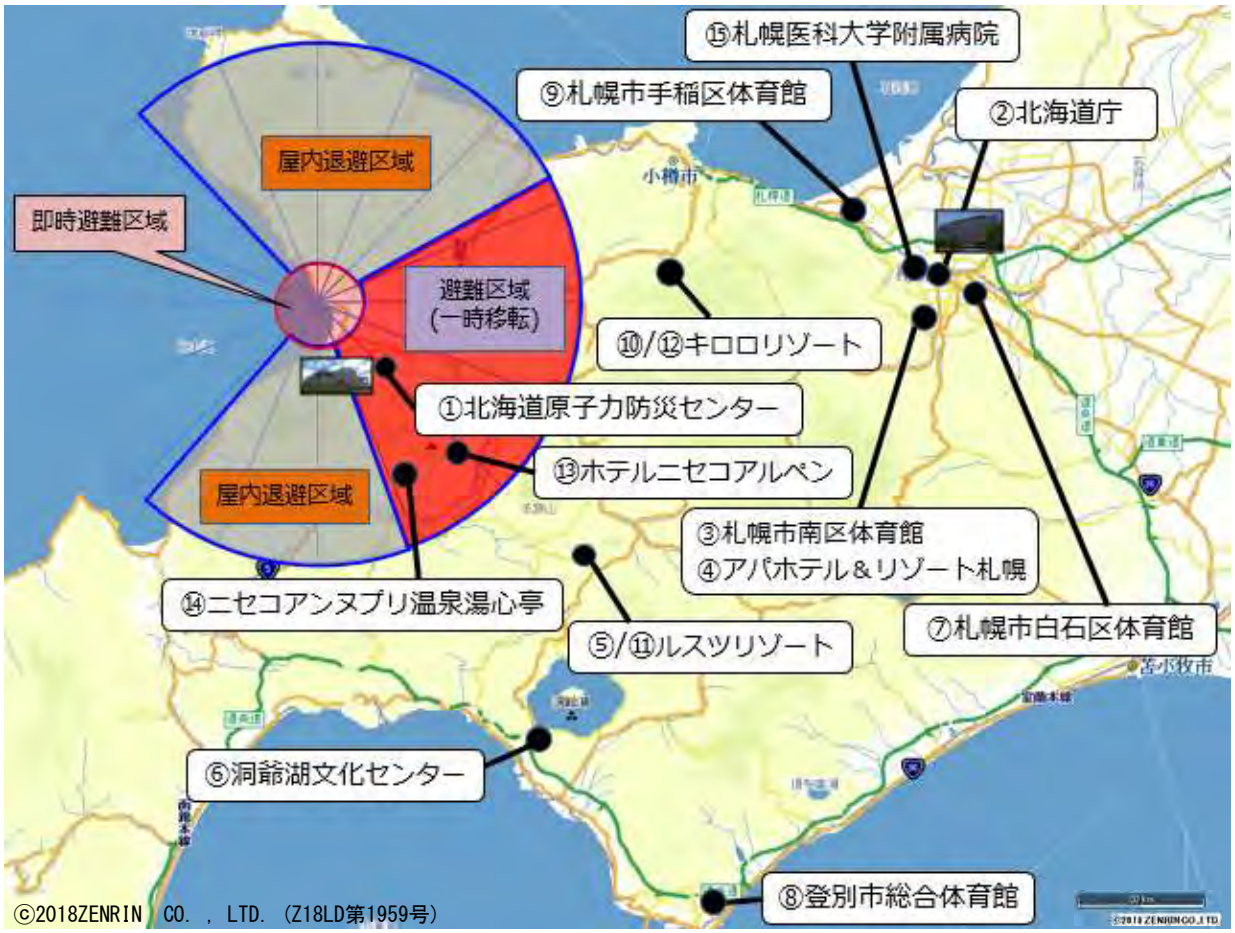
訓練当日である１０月２２日（月）は、防災行政無線や広報車などを使って広報訓練を行うほか、北海道及び各町村から、お持ちの携帯電話に緊急速報メールが配信されます。
また、大型バス、自衛隊車両などが多数訓練走行いたしますので、あらかじめご了承いただくとともに、ご協力についてよろしくお願いいたします。

◆訓練の見学◆

下記の訓練実施場所（予定）で訓練をご覧いただけます。

※　現時点での予定であり、変更になる場合があります。（詳細は北海道までお問い合わせください。）

主な訓練実施場所（予定）



・OFC運営訓練	①北海道原子力防災センター（岩内郡共和町南幌似141-1）
・道災害対策本部等設置運営訓練	②北海道庁（札幌市中央区北３条西６丁目）
・PAZ住民避難先等	③泊村一時滞在場所　札幌市南区体育館（札幌市南区川沿４条２丁目2-1）
	④泊村避難先　アパホテル＆リゾート札幌（札幌市南区川沿４条２丁目）
	⑤共和町避難先等　ルスツリゾート（虻田郡留寿都村字泉川13番地）
・UPZ住民避難先等	⑥共和町避難先等　洞爺湖文化センター（虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉142-140）
	⑦ニセコ町避難先等　札幌市白石区体育館（札幌市白石区南郷通6丁目北1-1）
	⑧倶知安町避難先等　登別市総合体育館（登別市若山町2丁目26-1）
	⑨仁木町避難先等　札幌市手稲区体育館（札幌市手稲区曙２条１丁目2-46）
	⑩赤井川村避難先等　キロロリゾート（余市郡赤井川村常盤128-1）
・避難退域時検査場所	⑪ルスツリゾート（虻田郡留寿都村字泉川13番地）
	⑫キロロリゾート（余市郡赤井川村常盤128-1）
・外国人観光客等避難誘導訓練	⑬ホテルニセコアルペン（虻田郡倶知安町山田204）
	⑭ニセコアンヌプリ温泉湯心亭（虻田郡ニセコ町ニセコ438）
・被ばく傷病者搬送訓練（受入施設）	⑮札幌医科大学附属病院（札幌市中央区南１条西16丁目291）

【お問い合わせ先】

北　海　道	総務部危機対策局原子力安全対策課（011-204-5011） 後志総合振興局地域創生部地域政策課（0136-23-1310）		
泊　　村	企画振興課（0135-75-2877）	共　和　町	企画振興課（0135-73-2011）
岩　内　町	総務財政課（0135-62-1011）	神 恵 内 村	総務課（0135-76-5011）
寿　都　町	企画課（0136-62-2608）	蘭　越　町	総務課（0136-57-5111）
ニ セ コ 町	総務課（0136-44-2121）	倶 知 安 町	総務課（0136-56-8000）
積　丹　町	総務課（0135-44-2112）	古　平　町	企画課（0135-42-2181）
仁　木　町	企画課（0135-32-3953）	余　市　町	地域協働推進課（0135-21-2142）
赤 井 川 村	総務課（0135-34-6211）		